



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

# 中野中 学校だより

令和4年 4月22日(金) 発行 第1号

## 『 あいさつ 』

校長 田代 雅規

4月より中野中学校の校長に任命されました田代 雅規(たしろ まさのり)です。中野区弥生町に生まれ、中野区の公立小中学校を卒業し、その後も60年近く中野区に住んでいます。

教員時代には、杉並区の公立中学校を長く経験しました。その後、桜修館中等教育学校で、中高一貫校(中等教育学校)を経験し、管理職になり、中野区立第一中学校、南中野中学校に勤務し、校長として練馬区立上石神井中学校で4年、緑野中学校で4年、中野東中学校で3年経験し、中野中学校の校長になりました。



これまでの経験を生かして、生まれ育った中野区のために精一杯頑張りたいと思っています。中野中の生徒の印象は、明るい生徒が多く、挨拶がしっかりできると感じました。学校施設も統合して新校舎となり、温水プールや冷暖房のある体育館もあり、整備されていると感じました。校庭が、もう少し広いと部活動ももっと十分な活動ができると思いましたが、限られた施設を協力し合っ部活動の練習をしている姿に感心しました。

今年は、開校して11年目となり、11月には開校10周年記念を予定しています。まだまだ、新型コロナウイルスの感染も心配な点もありますが、中野中学校の開校当時の理念を引き継ぎつつ、生徒の意見を尊重し、保護者や地域の方々の意見をお聞きしながら、新しい学校づくりを行っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

## 令和4年度 学校経営の基本方針

### 1 教育目標

英知の風かおり 友愛の情深く 精励の志つねに

### 2 目指す学校像

- 一人ひとりが大切にされる安全・安心な学校
- 生徒、保護者、地域に愛され、信頼される学校
- 基礎的な学力や自ら考える力が身に付く学校
- 生徒の可能性を伸ばし、将来の夢を育む学校
- 健康な体と豊かな心が育つ学校

## 誓いの言葉

石津 百菜 さん(1年C組)

暖かな春の訪れと共に、私たち新入生は本日、中野中学校の入学式を迎えることができました。コロナ禍で大変な日々が続いていますが、このような立派な入学式を執り行っただき、心より感謝いたします。

小学校を卒業し、新しい制服に袖を通した今日、ランドセルを見返してみると、たくさん思い出や頑張ってきたことを思い出します。私には、仲間と共に頑張ってきたと言えることが二つあります。一つは学校の吹奏楽です。三年間、毎朝朝練で吹き続けたチューバという楽器は、メロディではないものの重要なベースとなっている大きな楽器です。まさに「縁の下の力持ち」といった役割を担っています。

そして二つ目に頑張ってきたことは、習い事のチアダンスです。楽しく華やかに見える世界でも、練習の時には上手くいかずに落ち込んだり、辛い思いをしたりしたこともありました。そんな時、仲間が励ましてくれて、「私ならできる!」という自信をもたせてくれました。私は、この二つの経験を通して、みんなを支える力、応援する力、がむしゃらに頑張る力を身に付けることができました。

しかし、どれも仲間がいなかったら身に付けることができなかつた力です。だからこれから先は、ここにいる新入生 113名の仲間と共に話し合い、助け合い、支え合い、協力することによって中野中学校での日々を充実したものにしていきます。また、学校行事や新しく始まる部活動や委員会活動にも、期待で胸がいっぱいです。

その反面、不安や緊張も多くあります。難しくなっていくであろう勉強や新しい規則など分からないことがたくさんあります。中でも一番緊張することは友だち作りです。なぜなら六年間を共にした顔ぶれから新しい顔ぶれに変わるからです。今日みなさんは新しい友だちを作りたいと思い、入学式を迎えたことと思います。はじめて話しかけるのはとても勇気がいります。けれど話しかけられるのは嬉しいし、心が安心するはずです。話しかけられて嫌な人はいないと思います。だから、この入学式が終わった後、お互いが気軽に話しかけてみませんか? 中学校生活最初の勇気を出して、最高のスターを切りましょう。

これからお世話になる先生方、ご来賓の皆様、地域の方々、そして先輩方。まだ分からないことだらけの私たちですが、温かく見守ってくださいますよう、よろしく願いいたします。そして、保護者の方々、いつも見守り、私たちを支えてくださり本当にありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。私たちの中野中学校での成長を楽しみにしていただきます。中学校三年間を通して、文武両道を掲げ、目標に向かって努力することを忘れずに何事にも挑戦する勇気をもつこと、そのためにこの 113 人の仲間と励まし合い、支え合っていくことを決意し、誓いの言葉といたします。

## 歓迎の言葉

本橋 明日香 さん(3年A組)

あたたかな春の日の光を受け、色とりどりの花が咲き誇る、一年で最も美しい季節となりました。新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

真新しい制服に身を包み、中学生としての第一歩を踏み足した皆さんは、今、どのような中学校生活を送りたいと考えていますか。「勉強を頑張りたい」、「部活動を頑張りたい」、「違う小学校の人とも仲良くなりたい」、など思い描いていることは、人それぞれあると思います。それと同時に、中学校という新しい環境への不安も抱いていることでしょう。中学校は小学校よりも勉強が難しくなります。相手との関係を意識した態度や行動を求められます。ここで大切になってくるのは、「自分で考えて行動すること」です。

中学校では、一年に四回の定期考査と呼ばれるテストがあります。定期考査の二週間前に試験範囲表が配られ、テストに向けて勉強計画を立てます。どのような勉強をするのか、どれくらい勉強するのかを自分で考え実行します。はじめはなかなか上手くいかず、苦戦する人も多いです。中学校生活の中で、最も決断力が問われるといっても過言ではありません。

班活動や部活動、委員会活動においては、私たち生徒が中心となり、話し合いや助け合いの中から活動内容を考え、行動します。互いの意見が食い違うことや、うまくいかないこともあります。どのようにすれば、意見をまとめられるのか、うまく進めることができるかを、自分たちで考えていかなければなりません。

中学校には、運動会や合唱コンクールなど、大きな行事があります。一年生は運動会での学級対抗戦や、合唱コンクールでのクラス合唱などでは、一人ひとりが力を合わせることで、素晴らしいものをつくりあげることができます。

新型コロナウイルスの影響で、昨年度、運動会は短縮、合唱コンクールは実施することができませんでした。今年は皆さんと共に、中野中の新たな伝統をつくっていきたいと思います。共に考え、協力していきましょう。

自分たちで考え行動することは勇気がいることです。しかし、常に自分の行動を振り返ることで、次の機会に生かすことができます。時には辛い作業になるかもしれませんが、自らを省みることは、自分が大きく成長できるチャンスにもなります。

中学校は小学校とは違うことが多いので、始めは戸惑うこともあると思います。でも、安心してください。皆さんには仲間がいます。皆さんが少しでも早く中学校に慣れることができるように、分からないことや困ったことがあれば、いつでも二・三年生を頼ってください。在校生 228 名は、皆さんが生活しやすいように全力でサポートします。一緒に素敵な中野中ライフを送っていきましょう。

最後に、皆さんの中学校生活が喜びと希望に満ち溢れた、最高のものになることを願い、お祝いの言葉といたします。